

# 第46代会長に野田哲也氏が就任

年間テーマ「組織を動かす仕組み」



名古屋而立会令和元年度総会

## 入会年齢制限 45歳まで引き上げ

総会の冒頭挨拶に立った野田新会長が就任の決意を表明した。(就任挨拶は別項参照)。

総会は、伊藤亮仁元会長を議長に議案審議に入り、平成30年度事業報告、同決算報告を行ない、続いて、野田会長から事業計画案、同予算案の説明が行なわ



堺前会長からバトンタッチする野田新会長(右)

名古屋而立会(野田哲也会長、以下、而立会)は、4月18日名古屋・栄のホテル名古屋ガーデンパレスにおいて「令和元年度総会」を開催した。総会では、堺貴弘会長からバトンタッチした野田哲也新会長が「社会の変革期を乗り越え、変化に即応出来る体制を整備し力強い組織を作る」ことを表明。年間テーマに「組織を動かす仕組み」を掲げ新たなスタートを切った。議案審議では、令和元年度事業計画・予算案など4議案を上程、さらに、その他の議案では会則変更が審議され、「入会年齢を満45歳まで引上げ」の件など、いずれの議案も承認された。総会后、来賓・OB会員らとともに懇親会が行なわれ、情報交換に華が咲いた。

れいずれも承認された。その他の議案では、野田会長より新入会員の入会年齢制限引上げ案「入会年齢45歳までとし、以後5年在籍で卒業とする」が上程され満場一致で承認された。

新入会員報告では、藤原功(㈱メイセイプリント)、吉川雄季(㈱プリポート)、河合真典(大和グランド㈱)3氏の入会。また、渡辺達也(㈱メイセイプリント)、竹内嘉規(㈱サクラ印刷)、箕浦靖夫(名鉄局印刷㈱)、前田知彦(㈱プリポート)、宮原健太郎(㈱一粒社)5氏のOB会員移行が報告された。

総会終了後、来賓、OB会員を招き懇親会に移り、野田会長が「今回、規約の変更した。今までの41歳までの入会を45歳まで入会できることにさせていただいた。45歳に変更することによって間口が広がったと思う。この変更により新しく仲間を迎え入れることができる。是非、仲間を募っていただきたい」。そして、今年度の年間テーマは「組織を動かす仕組み」を掲げた。

来賓挨拶では、愛知県印刷工業組合細井俊男理事長が、「我々の少し先の時代を造って行くのは皆さん

## ■野田哲也会長就任挨拶

# 新しい運営体制で、力強い組織へ



第46代会長に就任した野田哲也氏

## 積極的に交流し 貴重な経験や体験を!

私は而立会に入会し丸8年が経ちます。2年ほど前に会長就任の打診を受けました。会社では、父から社長を受け継ぎ間もない時期でもありました。当時の状況は、自分一人で回しているような会社であり、また、このような企業体質ではとても受けられないと感じました。同時に、この話から逃げることも出来ないとも思いました。その時から、会社を一人で回している状態から変化するため、新しい組織の形について模索し始めました。そこで、今年度は「組織を動かす仕組み」を年間テーマに活動します。

令和への改元を控え、環境の変化以上に、人々の意識が大きく変化しています。私たち会員は皆、経営者・後継者・幹部社員です。誰もがいずれ今ある組織を引き継ぎ、自分自身が思い描く組織に、再構築する必要に迫られる時がきます。

考えをまとめ、方向性を指し示し、思いを伝え、部下のやる気を引き出せる、そのようなリーダーが作る組織は、より大きな力が発揮できると考えます。

私たちはこの2年間、60周年、名古屋大会と大きなイベントを立て続けに行ない、お陰様で大成功させることが出来ました。私たち一人ひとりが、その持ち味を出し、組織も十分に機能してより大きな力となり、イベントの成功という成果を上げました。お手本となる組織は、まさにこの一番身近な而立会でした。この素晴らしい組織のもととなる仕組みを、自分のものとするため、改めて会員の皆さんと一緒に

に学びたいと考えました。

「組織を動かす仕組み」を学び、来るべき令和に向けて、時代の変化にも揺るぐことのない、力強い組織を作り上げましょう。

而立会においても、今年度私たちは新しい運営体制へ変化してまいります。4委員会から3委員会制に移行します。また、ぎふ印刷翠陽クラブ様とも、共同運営する例会を設置します。そして、会員増強についても、増強担当委員会を作り、出来る手立てを尽くします。社会の変化に対応するため、一石を投じる覚悟をしました。会員の皆さんと共に、悩み、考え、永続出来る而立会を作っていきましょう。そのためにも、例会、委員会、懇親会、また緑友会など、他団体とのイベントに、積極的に参加していただきたいと思ひます。交流することでしか得られない貴重な経験や体験があります。積極的に交流し刺激を受けてほしい。そして、仲間から後押しされるのが、大きな力になることに気づいてほしい。なぜなら、私もそのひとりだからです。

名古屋而立会の会長という大役は、一人で抱えるには不安でしかありません。でも、私には皆さんが付いていると信じています。皆さんのお役に立てるよう、しっかりと精一杯、会長という役目を務めさせていただきますことをお約束して挨拶とします。

(太美工芸㈱社長)

方だと思う。2045年には人工知能が人間を凌駕すると聞いているのであと26年ぐらいである。皆さんが実戦でバリバリやっている、そういった時代に突入する。私たちには全く想像ができないが、これからの業界、印刷としいながら何をやっているか判らなくなる。商売自体も変わっていくと思う。皆さんの発想とか勉強が、いろいろな発案、発想、発明に繋がっていく。印刷業界が全く違う業界になっているかもしれない。私はそれで良いと思っている。

印刷組合は2年任期であるが、而立会は1年しかない。少しのんびりしているとすぐ終わってしまう。失敗を恐れずにおもいきりやるのが良いと思う。無駄な時間を過ごしてはもったいないです。会長になったかぎりには必死で奮闘し良い会にしたい」と、激励の言葉を贈った。

乾杯の発声を岡田吉生OB会長が行ない、令和元年而立会の新たなスタートを祝った。情報交換と和気藹々の一時に華が咲いた。